

# 平成24年度決算を審査

# 実効ある滞納対策を求めめる

## 監査委員の指摘

代表監査委員 後藤洋次郎  
議会選出監査委員 西山富三郎

① 財産調書に計上漏れの資産がある。早急にすべての町有財産を調査し、適切な管理をすること。

② 税金・各種使用料の未収金は、5億8899万円であり、昨年度を下回ったが依然として高額である。

特に国民健康保険税の収納率が低く、これまで以上の実効ある滞納・未収金対策を検討すること。



監査意見書を町長に提出

③ 「かばち選手権」など、補助金の効果が十分認められないイベントがある。費用対効果を考え、交付に努めること。

④ 町有財産を貸し付けるとき一定の基準

がなく、無償や低額での貸し付けが見受けられる。契約時には、適正な賃貸料となるよう改善するよう。

⑤ 発注工事の工期延滞で、完成が翌年度にずれ込み、繰越明許費で、議会承認手続きが欠如したものがあ。法令及び事務処理の順守に努めること。

## 議会の意見

決算審査特別委員会

① 一般会計決算は、安定した財政運営で基金残高48億1880万円と増加しているが、平成27年地方交付税特別措置が縮減されることをふまえ、町有地の売却・貸し付け、ナスパルタウン団地の販売促進などに努め、自主財源の確保をはからりたい。

② 町税や住宅新築資金等貸付金など

の滞納・未収金が、5億8899万円ある。悪質な滞納者には法的手段も視野に、実効ある滞納対策を求め。

③ 大山恵みの里公社は、町の活性化に大きな期待をしているが、事業推進に十分な点もある。大山の恵まれた自然を生かした農林水産業の発展や生産者との連携を密にした事業を

展開されたい。

④ 大山診療所は、早急に固定医を確保し、よりよい運営方針を模索されたい。



さらなる販売促進を(ナスパルタウン)